

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	1	必修
担当教員			
永井 正幸, 川勝 素子, 辛島 則子, 林 典子, 小林 里佳			
火2			
添付ファイル			

科目の概要	器楽Ⅰに引き続き、楽曲を演奏する上で欠かせない基礎技術・知識を教授する。リズムや運指、楽譜に書いてある音楽記号・用語を的確に演奏できる技術及びその練習方法を指導する。ML週とピアノ週に分けて授業を行う。ML週では、リズム課題曲表に基づいた楽曲を、ピアノ週では、個々の進度に応じたグレード別課題曲（バイエル・ブルクミュラー・ソナチネアルバム等）を学ぶ授業を展開し、基礎力の向上を図る。
授業の内容	<p>第1回 ピアノ週：本科目の説明、課題曲(複数曲譜読み) 授業の進め方について、学習目標の説明。 本科目では、以下の本学ピアノグレード課題曲及びリズム曲を、進度に合わせて学ぶ。</p> <p>(ピアノグレード課題曲の範囲) グレード1～4：バイエル3番～105番まで複数曲 グレード5～7：ブルクミュラー、ソナチネアルバムⅠ巻・Ⅱ巻から複数曲 グレード8～9：ソナチネアルバムⅠ巻・Ⅱ巻から 複数曲 グレード10：自由曲</p> <p>(リズム曲・主要学習曲) ロングロンガゴ、いとまき、おおスザンナ、誕生日のマーチ、うつくしいながれ等</p> <p>第2回 ML週：リズム曲複数曲(譜読み) リズム学習曲の譜読みを進度に合わせて行う。</p> <p>第3回 ピアノ週：課題曲(指使い・音楽用語について) グレード課題曲より選択された楽曲を学ぶ。 指番号や音楽用語などの基礎的事項の復習も含みながら、学びを進める。</p> <p>第4回 ML週：リズム曲複数曲(譜読み終了) リズム学習曲の譜読みを4曲～6曲、終わることができるように学びを進める。</p> <p>第5回 ピアノ週：課題曲(手首や腕の使い方について) 柔らかな音色表現などを身につけるために必要な手首や腕の使い方について学ぶ。</p> <p>第6回 ML週：リズム曲複数曲(曲想と技術について) リズム学習曲の強弱や左右のバランス、演奏速度などを研究し、効果的な楽曲表現を学ぶ。</p> <p>第7回 ピアノ週：課題曲(練習方法について) 確実な演奏・表現技術を習得するための練習方法について学ぶ。</p> <p>第8回 ML週：リズム曲複数曲(暗譜) リズム学習曲を暗譜で弾くための準備をする。</p> <p>第9回 ピアノ週：課題曲(演奏速度について) 各楽曲の曲想に適した演奏速度で弾くための方法について学ぶ。</p> <p>第10回 ML週：リズム学習曲の仕上げ(暗譜を含む) リズム学習曲の試験に向けて、演奏技術だけでなく豊かな表現ができるよう、学びを深める。</p> <p>第11回 ピアノ週：課題曲(曲想表現)、グレード課題曲の中から実技試験曲選択 後期定期試験に向けて、試験曲を選択し、譜読みを始める。</p> <p>第12回 ML週：リズム学習曲実技試験 リズム学習曲の実技試験を実施する。</p> <p>第13回 ピアノ週：実技試験曲(練習方法の研究) 試験曲の練習方法について、練習速度や手首・腕の使い方などを工夫しながら学ぶ。</p> <p>第14回 ピアノ週：実技試験曲(曲想表現・暗譜) 試験曲の演奏表現上の課題を見つけ、改善を図る。</p> <p>第15回 ピアノ週：実技試験曲の仕上げ(暗譜を含む) 定期試験に向けて、通し練習を繰り返し行い、暗譜で弾く。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムの特徴を理解・表現できる。 ・効果的な練習方法を身につけることができる。 ・基礎的な楽語の意味を説明できる。
授業の方法	実技形式。本学グレード課題曲を学ぶピアノ週と、リズム曲を学ぶML週に分けて授業を行う。各教員の担当学生数は、4～5名となる。使用教室はML教室とピアノレッスン室である。
成績評価の方法	実技試験(定期試験・リズム曲試験)と平常点による評価。割合は、定期試験60%・リズム曲試験30%・平常点10%とする。

教科書・テキスト	「全訳バイエルピアノ教則本」全音 「ブルクミュラー 25の練習曲」全音 「ソナチネアルバム1 標準版」全音 「やさしく学べるピアノ100」 関西地区大学音楽教育学会編著 音楽之友社 「保育用 ピアノマーチ集」 一宮道子編 全音
参考書	特に指定しない。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<ul style="list-style-type: none"> ・課題曲の予習曲数を2曲以上とすること。 ・基礎的な知識・技術を繰り返し勉強すること。
履修上の留意事項	単位を修得するためには、バイエル90番を修了しなければならない。
オフィスアワー	木曜日2限
担当教員への連絡方法	4-603 研究室 大学メールアドレス：m-nagai@osaka-aoyama.ac.jp
その他	